

石川工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	第2 外国語ⅠⅠ (中国語)	
科目基礎情報							
科目番号	18440		科目区分		一般 / 選択		
授業形態			単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	建築学科		対象学年		5		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	教科書：中国語　さらなる一歩　竹島金吾著　白水社　教材等：中日日中辞書						
担当教員	唐堂 由其						
到達目標							
1. 中国語の基本会話する能力を身に付ける。 2. 様々な話題の中国語の文章の読解力を身に付ける。 3. 自分の考えや意見を中国語で書いたり、発表したりできるようになる。 4. より複雑な構文を理解でき、語彙を増やし、表現力を身に付ける。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1 到達目標1,2	中国語の基本的知識を身につけ、自由に会話し、標準的な中国語文章を読みこなすことができる。		中国語の基本的知識を身につけ、中国語会話・文章読解ができる。		中国語についての理解が不十分で、会話や読解がスムーズにできない。		
評価項目2 到達目標3	中国語で思考し、これをまとめて表現を工夫しながら文章化し、また口頭発表することが出来る。		中国語で自分の考えをまとめ、文章化し、口頭発表できる。		中国語で自分の思考を充分まとめることができず、口頭発表もスムーズに出来ない。		
評価項目3 到達目標4	中国語による高度な読解、語彙理解、表現ができる		中国語による高度な表現を理解することができる。		中国語による高度な表現の理解が困難である。		
学科の到達目標項目との関係							
本科教育目標 1 本科教育目標 3 創造工学プログラム C1							
教育方法等							
概要	中国の「大学生活」「社会事情」「文化風習」といった身近な話題についての文章の学習を通じて、中国語によるコミュニケーション能力の向上、簡単な中国語文章を速読できる力を養成し、中国語の重要な文法事項を定着させ、技術者として必要な基礎学力を習得させる。 更に中国語とその運用についての知識を身につけるとともに、その背景にある中国語圏の社会や文化に対する理解を深め、幅広い視点から自らの立場を理解し、社会や環境に配慮して国際社会を多面的に考えることができるようになることを目標とする。						
授業の進め方・方法	〔授業の進め方〕講義・演習・小テスト・課題により行う。 1. 大きい声で積極的に発音する。 2. 単語を覚える 3. 予習・復習する。教科書付属の音声教材を使い、繰り返し練習する。 4. 辞書を活用する。 〔事前事後学習など〕レポートや小テストなど、提出物は必ず提出すること。						
注意点	〔評価基準・方法〕成績の評価基準として60点以上を合格とする。 中間試験、期末試験、学年末試験を実施する。 前期末：中間試験・期末試験の平均点（50％）及び小テスト・レポート・演習実績（50％）からの総合判断 学年末：前期成績と後期成績（算出方法は前期と同じ）の平均						
テスト							
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス・発音及び基本文法の復習		基本的発音・文法理解ができる。		
		2週	中国に行こう（1）		中国語による旅行会話を理解し、活用できる。		
		3週	中国に行こう（2）		中国語による旅行会話を理解し、活用できる。		
		4週	ウーロン茶を飲もう（1）		中国語による商品注文ができる。		
		5週	ウーロン茶を飲もう（2）		中国語による商品注文ができる。		
		6週	友だちを作ろう（1）		中国語による自己紹介・会話・質疑応答ができる。		
		7週	友だちを作ろう（2）		中国語による自己紹介・会話・質疑応答ができる。		
		8週	長城に登ろう（1）		中国語による案内表示板・地図読解ができる。		
	2ndQ	9週	長城に登ろう（2）		中国語による案内表示板・地図読解ができる。		
		10週	漢字を覚えよう（1）		中国語特有の漢字を多く理解できる。		
		11週	漢字を覚えよう（2）		中国語特有の漢字を多く理解できる。		
		12週	街を歩こう（1）		中国語で道を尋ね、目的地に到達することができる。		
		13週	街を歩こう（2）		中国語を理解し、街歩きを堪能できる。		
		14週	前期のまとめ		前期の学習内容について理解し、活用できる。		
		15週	前期復習		前期の学習内容について深く理解し、自由に活用できる。		
		16週	テスト返却		前期末試験の結果を受け、自分の問題点を理解し、改善できる。		
後期	3rdQ	1週	中国の映画を見よう（1）		中国語で中国映画を理解し、鑑賞できる。		
		2週	中国の映画を見よう（2）		中国語で中国映画を理解し、鑑賞できる。		
		3週	シルクを買おう（1）		中国語で商品について質問し、購買できる。		
		4週	シルクを買おう（2）		中国語で商品について質問し、購買できる。		

		5週	中華を食べよう（１）	中国語で飲食店のメニューについて理解し、料理を注文できる。
		6週	中華を食べよう（２）	中国語で飲食店のメニューについて理解し、料理を注文できる。
		7週	映画の紹介	中国映画を深く理解し、中国語で紹介できる。
		8週	太極拳を習おう（１）	中国語で身体運動についての説明をよく理解することができる。
	4thQ	9週	太極拳を習おう（２）	中国語で身体運動についての説明をよく理解することができる。
		10週	水滸伝を楽しもう（１）	中国古典文学を中国語で理解し、鑑賞することができる。
		11週	水滸伝を楽しもう（２）	中国古典文学を中国語で理解し、鑑賞することができる。
		12週	春節を過ごそう（１）	中国語会話を通じて中国の伝統行事を理解し、堪能することができる。
		13週	春節を過ごそう（２）	中国語会話を通じて中国の伝統行事を理解し、堪能することができる。
		14週	後期のまとめ	後期の学習内容について理解し、活用できる。
		15週	後期復習	後期の学習内容について深く理解し、自由に活用できる。
		16週	テスト返却	学年末試験の結果を受け、自分の問題点について理解し、改善できる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	50	0	0	0	0	50	100
基礎的能力	50	0	0	0	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0